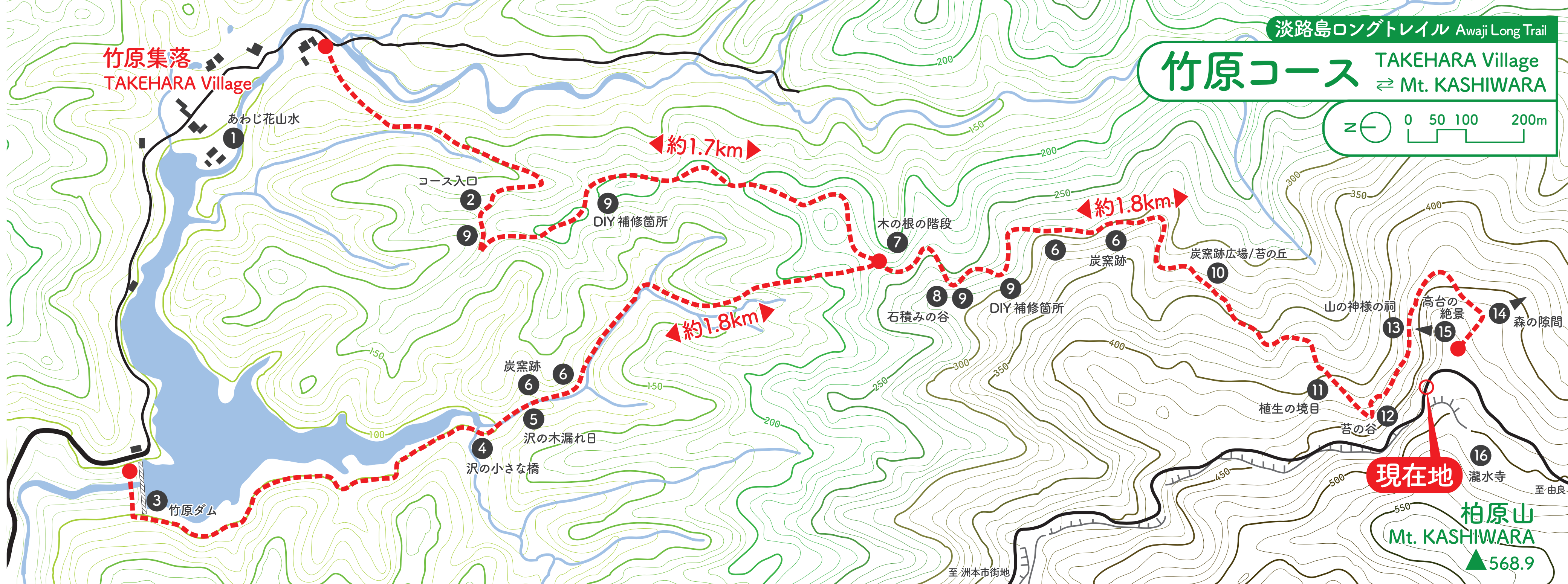


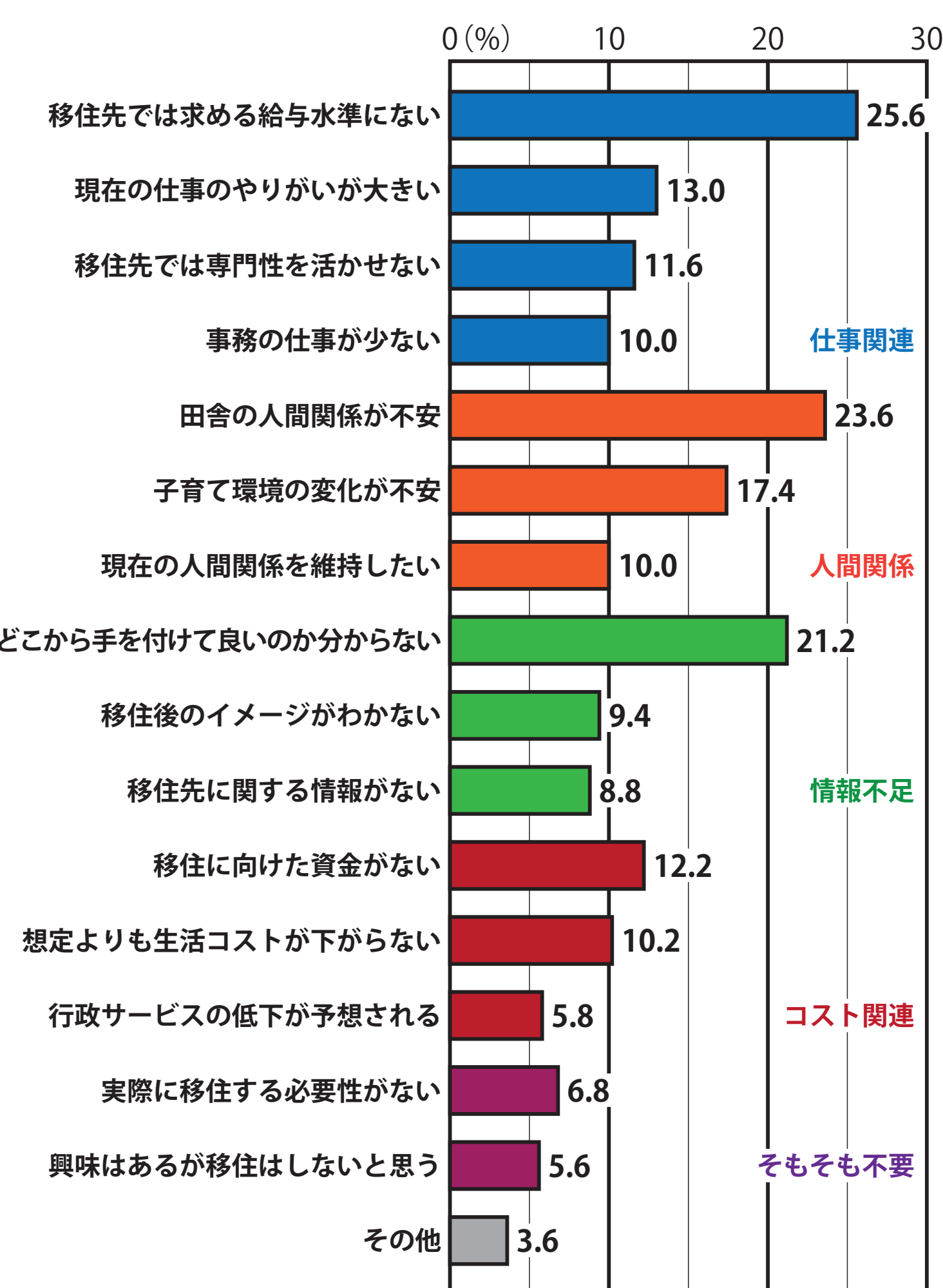
プロジェクト概要



ロングトレイル (Long Trail) とは自然道を主とした道を長時間・長距離歩くアウトドアの形態、及びその為の道路空間を指す。険しい山の頂上を目指す登山と異なり「歩く」ことに主眼が置かれている為、コースは山岳地に限らず、田畑や牧場といった農地や、家屋が立ち並んだ市街地等も含まれる。本プロジェクトは竹原地区の里山を舞台としたトレイルコースの維持管理を通して、多様なアクティビィの創出による地域づくりを進めていく試みである。



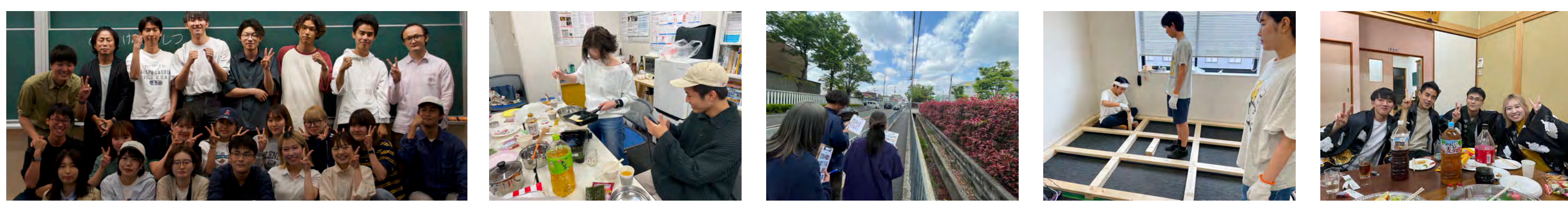
①あわじ花山水…アジサイ園(概ね6月～7月)はか四季折々の風景が楽しめる庭園。②コース入口…竹原コースの入口。シメミ煙を放ちたい、いよいよトレイルが始まります。③竹原ダム…もうひとつのスタート地点。ここでは沢沿いを歩くルートになります。④沢の小さな橋…清涼に掛かるともな橋の跡。先人の歩みを感じながら渡ります。⑤沢の水濡れ…水濡れは1人条件が厳しい、水濡れは1人条件の神秘的な風景を味わえます。⑥炭焼跡…コースに点在する石積み炭焼跡。あなただけのついでついででしょうか。⑦木の根の階段…突然に岩から立ち作られた階段の水濡れ、山が自然に人恵みのひとともしまへる。⑧石積み…谷…昔は交通路だったことにも物語る歴史。炭焼とこま、コースに現れつつあります。⑨DIY修繕所…遠くに参加者の皆様の修繕した場所です。ここから増えています。⑩炭焼跡広場…炭の丘、炭焼跡の正面、炭の炭が積もるとな谷に緑の遠眺が広がっています。⑪植生の境目…植生のボーダーラインがはよくと見えてくれる珍しいポイント。⑫苔の谷…多種多様な苔の群生する谷。自然の息吹が感じられる癒しのスポットです。⑬山の木根の洞…大木の根に穴を穿つ神秘的な旅。旅の奇事を祈ります。⑭森の隙間…山に空いた隙間に山南側の風景が見えたら、ゴールはもうすぐ。⑮高谷の絶景…開けた高谷から、炭焼の輪郭を感じられる絶大な光景が眺めます。⑯高谷山湛水寺…淡路西国三十三ヶ所堂のひとつ(無住のため納経等はふもとのお泉寺にて)。スポーツ情報は2021年3月現在のものです。



【引用】一般社団法人移住・交流推進機構：「若者の移住」調査結果レポート、2018.03.

Project 2
鮎原宇谷

「宇谷のみらいを創る会」取り組み支援

Project 1
千草竹原

淡路島ロングトレイル構想(ALT)運営支援

イベント「3Dスキャン×山ごはんトレイル」を通じた 協働型維持管理手法の検討

イベントを兼ねた社会実験の実施、及び国内ロングトレイル「みちのく潮風トレイル」へのヒアリング調査等を通して 3D スキャンを用いた協働型維持管理手法の可能性を検討。



その他の取り組み・今後の展望

その他コース内の広場整備や兵庫県多可町の視察対応を行った他、年度内の取り組みとしてイベント実施、ノベルティ制作等を進めていく予定である。

併せて今後のトレイルコースの維持管理に一定の規則性・行事性を持たせる為の「山びらき／山じまい」を軸とした暦の設計や、3D スキャンの応用による、有限性を前提とした独自の近自然工法のマニュアル化等を検討中である。



山林道のメンテナンス



地元ガールスカウトの協力を得て、安全・円滑な歩行ができるよう足場の整備やコース看板の制作・設置を実施。

トレイル仲間募集中！



移住&むらづくり読本の制作と今後の展望

公的情報だけではフォローできない宇谷の情報をあらかじめ移住検討者に伝える為のメディア。モデルとなった「集落の教科書」は京都府等で幾つかの制作事例があるが、本書のオリジナル要素として「移住関連のみならずむらづくり全般の情報を掲載」した上で、内容を更新し続けられるよう「バイナード綴じ（永遠のβ版）」仕様としている。今後は本書のアップデートを地域づくりに組み込んでいく為の、かつらぼ OBOG が継続的に関わり続ける機会としての「読み合わせの会」の設計を検討中である。併せて2023年度は看板及び屋台設計、のれん制作、宇谷英語ブック（仮称）制作のプロジェクトが進行中。



ラボ概要 | 2022年4月発足。9名のB4（1期生、うち2名はM0）と12名のB3（2期生）にPIの野田を加えた計22名の陣営（2023年度現在）。①**学生自治**「一番身近な地域づくりはラボ運営である」、②**知的体力**「考え続ける／悩み続ける／つくり続ける持久力を鍛える」、③**研究的実践 × 実践的研究**「理論と現場とを横断して思考する」がラボの三本柱。学生はB3期にプロジェクトとして域学連携事業に参画。その他ラボDIYや学祭出店等、学内外を問わず様々な活動を実施。

